

第154期 中間報告書

(2019年3月1日から2019年8月31日まで)



男はつらいよ 50
お帰り 寅さん

©2019松竹株式会社



松竹株式会社

証券コード9601

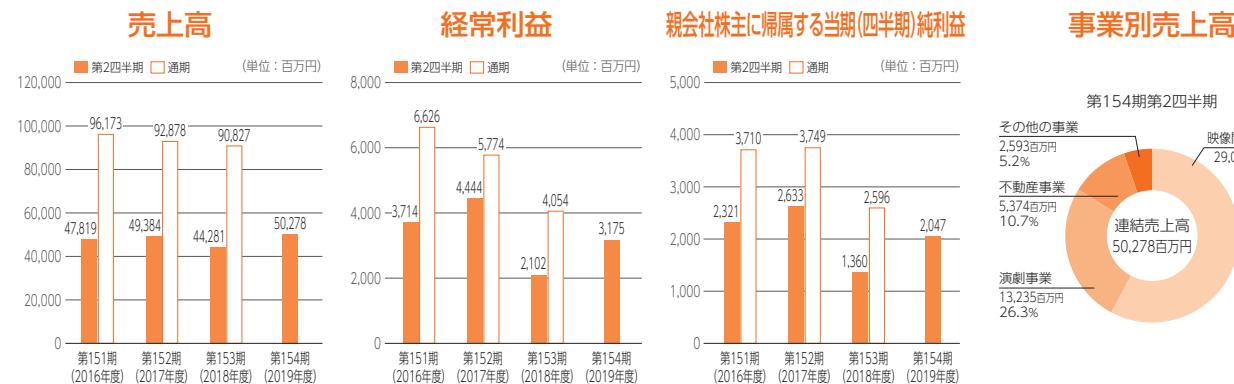
松竹株式会社

代表取締役社長 迫本 淳一



平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社は第154期第2四半期連結累計期間（2019年3月1日から2019年8月31日まで）の事業活動を終了いたしましたので、業績並びに事業の概況につきましてご報告申し上げます。
株主の皆様におかれましては、今後も一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

連結決算ハイライト



当第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益および雇用情勢の改善が継続し、個人消費は持ち直しており、景気の緩やかな回復が続きました。

映画業界は、「アラジン」「天気の子」「トイ・ストーリー4」の3本が興行収入100億円を超える大ヒットとなり、記録的な好成績となりました。

演劇業界はお客様が公演を厳しく選別している状況で、お客様の嗜好に合った公演企画の実現と、新たな顧客層の開拓が課題と考えております。一方で今後新たな劇場・ホール建設・開場が予定されており、小規模の劇場等も含め興行の多様化が進むものと考えます。さらに6月の「チケット不正転売禁止法」施行に伴い、チケット券面上に注意事項の追加表記およびチケット不正有償譲渡抑止のためにご購入者氏名等の記載を行っております。

不動産業界は、賃貸オフィスビル市場でオフィス需要の拡大により高稼働、賃料の上昇傾向が続く堅調ですが、今後の世界情勢の不安定要素が出ていることなどから不透明感は増しており、今後の変化を注視する必要があります。

このような状況下、当社グループはより一層の効率化を図るとともに、積極的な営業活動に努めて参りました結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高50,278百万円（前年同期比113.5%）、営業利益3,326百万円（同135.7%）、経常利益3,175百万円（同151.0%）となり、特別損失94百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,047百万円（同150.5%）となりました。

なお、当社の中間配当につきましては、通期業績に不透明要因が残ることから、誠に遺憾ながら見送らせていただきたく存じます。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

上半期の概況

映像関連事業

【配給】邦画6本、洋画1本、アニメ8本、シネマ歌舞伎、METライブビューイング、松竹ブロードウェイシネマとバラエティに富んだ作品を公開しました。6月公開の「ザ・ファブル」は、原作ファンをはじめ幅広い層に支持され、8月公開の「引越し大名!」は、シニア層に加え、キャストファンの幅広い世代の女性層に支持され、好調な成績となりました。

【興行】(株)松竹マルチプレックスシアターズにおいては、4月に最先端の映像技術「Dolby Vision™（ドルビービジョン）」、立体音響技術の「Dolby Atmos®（ドルビーアトモス）」と、最適化されたシアターデザインの技術が一体となったドルビーシネマをMOVIXさいたまに導入して、他社との差別化を図り、好評を博しました。

【テレビ制作】地上波にて、連続ドラマ「きのう何食べた?」、2時間ドラマ「嫉妬」、BS放送にて、「無用庵隠居修行3」、「立花登 青春手控えスペシャル」および情報番組「寅さんと50年」を受注制作いたしました。

【映像版權】◀DVD・ブルーレイディスク販売▶「人魚の眠る家」、「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」が映画のヒットに続き好調に推移しました。

◀権利販売▶テレビ放映権販売では、地上波にて「ナミヤ雑貨店の奇蹟」がゴールデンタイムに放送され、BS放送にて、BSテレビ東京での「釣りバカ日誌」シリーズ放送に続いて「男はつらいよ」シリーズを放送し、収益に貢献しました。海外販売では、「旅猫リポート」のアジア向け販売、「あした世界が終わるとしても」の欧米向けの販売が好調に推移しました。また、台湾のホウ・シャオシェン監督の「フラワーズ・オブ・シャンハイ」のデジタル修復版が制作され、6月の上海国際映画祭にてワールド・プレ

ミア上映されました。

【CS放送】松竹ブロードキャスティング(株)は、競合となるインターネット動画配信サービスにより、多チャンネル市場は厳しい状況が続いておりますが、コスト削減等により利益の確保に努めました。

演劇事業

【歌舞伎座】「三月大歌舞伎」は古典の名作を上演し充実した公演となりました。「四月大歌舞伎」は歌舞伎界の重鎮の活躍が目立ちました。「團扇祭五月大歌舞伎」は尾上菊之助の長男、七代目尾上丑之助の初舞台演出「絵本牛若丸」が話題を集め、大盛況となりました。「六月大歌舞伎」は夜の部で三谷幸喜作・演出「月光露針路日本 風雲児たち」の上演が大きな話題となりました。「七月大歌舞伎」は夜の部の、「義経千本桜」を基にした通し狂言「星合世十三團 成田千本桜」や昼の部の「外郎売」が注目を集め大人気興行となりました。恒例の三部制興行「八月納涼歌舞伎」は、第一部の名作「伽羅先代萩」、第二部の「東海道中膝栗毛」、第三部「新版 雪之丞変化」など、幅広い演目を並べ好評を博しました。

【新橋演舞場】3月に多彩な出演者による「トリッパー遊園地」およびOSK日本歌劇団「レビュー春のおどり」を上演いたしました。4月、5月は新しく生まれ変わった「滝沢歌舞伎ZERO」を上演し大盛況となりました。6月の熱海五郎一座公演は、高島礼子、橋本マナミをゲストに迎え大好評でした。7月は新橋演舞場に4年ぶりの出演となった藤山直美の主演作「笑う門には福来たる〜女興行師 吉本せい〜」を上演いたしました。8月は新派公演「京都 都大路謎の花くらべ」およびコメディ作品「ブラックorホワイト?」をお贈りしました。



「ザ・ファブル」
©2019「ザ・ファブル」製作委員会



「引越し大名!」
©2019「引越し大名!」製作委員会



令和元年8月 歌舞伎座
「伽羅先代萩」
©松竹株式会社

【大阪松竹座】3月は恒例の関西ジャニーズJr.公演が大盛況となり、4月の「レビュー春のおどり」は、桐生麻耶トップ披露公演をお贈りしました。5月の「笑う門には福来たる～女興行師吉本せい～」公演では、藤山直美が2年半ぶりに大阪松竹座に復帰しました。6月の「三婆」公演では、大竹しのぶ・渡辺えり・キムラ緑子、人気3人の名演技で好成績を収めました。「七月大歌舞伎」は、関西・歌舞伎を愛する会 結成四十周年記念公演と銘打って、豪華な俳優、演目で大いに盛り上がりました。8月の関西ジャニーズJr.公演は完売の盛況ぶりでした。

【南座】新開場記念の公演が続いており、3月の「坂東玉三郎特別公演」では、玉三郎の美の世界がお客様を魅了し、5月「京都ミライマツリ2019」は革新をテーマにした新時代のお祭りを創出し、話題となりました。6月の新作歌舞伎「NARUTO-ナルト-」および8月の「八月南座超歌舞伎」では、幅広い層のお客様がご来場されました。

【その他の公演】5月に日生劇場で大地真央主演による「クイーン・エリザベス」が上演され、巡業公演では恒例の「四国こんびら歌舞伎大芝居」が4月に行われ、二代目松本白鸚・十代目松本幸四郎襲名披露の全国公演が3月、4月に中央コース、6月、7月に東コースとして行われました。受注製作公演では、博多座で「三月花形歌舞伎」および「六月博多座大歌舞伎」、名古屋御園座で4月「陽春花形歌舞伎」を製作いたしました。

【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】シネマ歌舞伎では、「野田版 桜の森の満開の下」他の作品が全国公開され、METライブビューイングは、ワーグナーの「ワルキューレ」他を上映いたしました。

不動産事業

不動産賃貸では歌舞伎座タワー・築地松竹ビル（銀座松竹スクエア）・東劇ビル・新宿松竹会館（新宿ピカデリー）・有楽町センタービル（マリオン）・松竹倶楽部ビル等の満室が続き、昨年秋に竣工の京都松竹阪井座ビルにおきましても満室稼働となり、全体でも高い稼働率で安定収入に貢献しました。また、各テナントとの賃料交渉にも誠実に対応し、利益を確保いたしました。

その他の事業

【プログラム・キャラクター商品】劇場プログラムおよびキャラクター商品で「えいがのおそ松さん」映画「少年たち」が収益に貢献しました。映画作品以外の取り組みとして「トムとジェリー」と歌舞伎のコラボ商品展開や「超歌舞伎」関連商品の新たな展開等を積極的に行い好調に推移しました。

【イベント事業】イベントとして三重県・ナガシマスパーランドで「恐竜島の大冒険」、東京都・玉川高島屋S・Cで「たまたがわキッズスポーツフェスタ」を開催、ファミリー層を中心に人気を博しました。東京タワーでのVR技術を利用したお化け屋敷「老婆の呪面」は海外からのお客様にも人気のイベントとなりました。

【その他】キャラクター「かぶきにゃんたろう」プロジェクトにおいては、関連商品の販売が積極的に行われた他、他社へのライセンス活動も積極的に展開しました。

今後の見通し

今後のわが国の経済は、雇用・所得環境の改善や東京五輪の開催もあり、緩やかな回復が続くことが期待されます。一方で、所得税率の引き上げに伴う個人消費への影響や、世界経済についても、中国経済の先行きなどについて留意する必要があります。

当社グループは、コンプライアンス経営の強化に取り組み、コーポレート・ガバナンスの推進を図って参ります。社会情勢に対応しつつ企業価値を高め、あらゆる世代のお客様に喜んでいただける映像・演劇コンテンツを創造して参ります。

【映像関連事業】

映画製作・配給につきましては、10月に「カメラを止めるな！」の上田慎一郎監督最新作「スペシャルアクターズ」、11月に徐々に忠臣蔵がスクリーンに帰ってくる「決算！忠臣蔵」、12月にみんなが笑いと涙に包まれる最高の感動作「男はつらいよ お帰り寅さん」等が公開となります。

【演劇事業】

歌舞伎座は、恒例となりました「秀山祭九月大歌舞伎」、「芸術祭十月大歌舞伎」、そして「吉例顔見世大歌舞伎」におきまして古典歌舞伎の魅力を十二分にお届けするほか、来年の市川團十郎襲名に向け歌舞伎全体を盛り上げて参ります。

新橋演舞場は、9月に本格的ミュージカル「ペテン師と詐欺師」を上演し、10月、11月公演のスーパー歌舞伎Ⅱ「新版オグリ」、12月の新作歌舞伎「風の谷のナウシカ」などの話題作で盛り上げます。

大阪松竹座は、山田洋次監督の映画「家族はつらいよ」の舞台版を「九月新派公演」にて再演し、11月には新喜劇公演「大阪の家族はつらいよ」として上演いたします。

南座は、10月に藤山直美主演の「喜劇 道頓堀ものがたり」を上演し、年末は恒例の「吉例顔見世興行」にて掉尾を飾ります。

シネマ歌舞伎は、特別篇「幽玄」他の作品を全国公開し、METライブビューイングは、プッチーニの「トゥーランドット」他の公開を予定しております。

【不動産事業】

浅草六区（東京都台東区）で開発中のホテル「浅草ビューホテルアネックス六区」は、国内外からのお客様の増加に伴う浅草観光の新たな拠点として地域密着型のホテルを計画しており、2020年春の竣工・開業を目標に新築工事を推進して参ります。また、当社保有ビルに入居いただいている各テナント企業様とは、当社独自の細やかなテナントコミュニケーションによって良好な関係を築くとともに、適切な物件管理とサービス向上に努め、「安心・安全なビル運営」に努めて参ります。

【その他の事業】

プログラムおよびキャラクター商品の収益の最大化を実現できるよう、更なる効率的な業務運用・コスト管理と商品企画力を強化し、将来想定される物流経費の上昇をはじめとする懸案事項に対応すべくシステム対応を中心とした業務改善を行って参ります。また、映画作品の興行状況に左右されない収益源確保を目指して開発された「かぶきにゃんたろう」プロジェクトの更なる強化を行い、権利ビジネスを核として将来の主力事業に拡大するよう着実に展開して参ります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



令和元年7月 新橋演舞場
「笑う門には福来たる ～女興行師 吉本せい～」
©松竹株式会社



令和元年5月 京都南座
「京都ミライマツリ2019」
©松竹株式会社



歌舞伎座タワー
©松竹株式会社・株式会社歌舞伎座



「かぶきにゃんたろう」
©2017, 2019 SANRIO/
SHOCHIKU
著作 株式会社サンリオ



「スペシャルアクターズ」
©松竹ブロードキャスティング



「決算！忠臣蔵」
©2019「決算！忠臣蔵」製作委員会



令和元年10月、11月 新橋演舞場
スーパー歌舞伎Ⅱ「新版オグリ」
©松竹株式会社

■ 連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 2019年8月31日現在	前期末 2019年2月28日現在
資産の部		
流動資産	41,128	48,444
固定資産	159,543	159,900
有形固定資産	106,653	105,155
無形固定資産	2,537	2,539
投資その他の資産	50,351	52,205
資産合計	200,671	208,345
負債の部		
流動負債	39,427	51,097
固定負債	69,229	64,521
負債合計	108,656	115,618
純資産の部		
株主資本	83,478	81,853
資本金	33,018	33,018
資本剰余金	30,136	30,136
利益剰余金	21,770	20,138
自己株式	△ 1,447	△ 1,439
その他の包括利益累計額	8,036	10,381
その他有価証券評価差額金	7,588	9,895
為替換算調整勘定	△ 2	-
退職給付に係る調整累計額	450	486
非支配株主持分	499	491
純資産合計	92,014	92,726
負債・純資産合計	200,671	208,345

■ 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 自 2019年3月 1日 至 2019年8月31日	前第2四半期累計期間 自 2018年3月 1日 至 2018年8月31日
売上高	50,278	44,281
売上原価	29,145	25,187
売上総利益	21,132	19,094
販売費及び一般管理費	17,806	16,643
営業利益	3,326	2,450
営業外収益	362	379
営業外費用	513	727
経常利益	3,175	2,102
特別損失	94	3
税金等調整前四半期純利益	3,081	2,099
法人税、住民税及び事業税	1,119	783
法人税等調整額	△ 94	△ 48
法人税等合計	1,025	734
四半期純利益	2,055	1,364
非支配株主に帰属する四半期純利益	8	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,047	1,360

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計期間 自 2019年3月 1日 至 2019年8月31日	前第2四半期累計期間 自 2018年3月 1日 至 2018年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,392	3,809
投資活動によるキャッシュ・フロー	6,559	790
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,076	1,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	-
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,877	5,992
現金及び現金同等物の期首残高	18,711	15,139
現金及び現金同等物の四半期末残高	23,588	21,131

新作映画情報

『男はつらいよ お帰り 寅さん』



かつて日本中を笑い涙で包み、国民的人気を誇った映画シリーズ『男はつらいよ』。日本中を旅する主人公・車寅次郎、通称“寅さん”が、故郷の柴又に戻って来ては、家族や恋したマドンナを巻き込み、騒ぎを起こす。破天荒で、変わり者で、自由奔放。でも、その温かくて優しい人柄に誰もが魅了され、愛され続けた――。

そして第一作の公開から50周年となる今年、50作目の最新作が誕生する。それは、新撮された登場人物たちの”今”を描く映像と、4Kデジタル修復されて蘇る寅さんのシリーズ映像が見事に紡ぎ合う、新たな『男はつらいよ』の物語。50年の歩みがあったからこそ完成した映画は、生みの親である山田洋次監督自身が「今まで観たことのない作品が出来た」と驚くほど、想像を超える奇跡の映画。

小説家の満男(吉岡秀隆)は、中学三年の娘と二人暮らし。最新著書の評判は良いが、次回作の執筆にはいまいち乗り気になれないモヤモヤした日々。なぜか夢の中には、初恋の人・イズミ(後藤久美子)が現れ悩みだす始末。そんな時、妻の七回

忌の法要で実家を訪れた満男は、母・さくら(倍賞千恵子)、父・博(前田吟)たちと昔話に花を咲かす。いつも自分の味方でいてくれた伯父・寅次郎(渥美清)との、騒々しくて楽しかった日々。あの寅さんへの想いが、蘇る――

満男やイズミのように、大人になっても悩みが多い“今”の私たちは、きっと寅さんの言葉や存在にそっと背中を押され、新たな人生の一步を踏み出す元気をもらえる。この冬、ずっと寅さんを待ち望んでいた人も、映画館で初めて出会う人も、みんなが【笑いと涙】に包まれる最高の感動作!

公開: 2019年12月27日(金)

出演: 渥美清 / 倍賞千恵子、吉岡秀隆、後藤久美子、前田吟、池脇千鶴、夏木マリ、浅丘ルリ子

原作・監督: 山田洋次

主題歌: 「男はつらいよ」 渥美清 / オープニング 桑田佳祐

©2019松竹株式会社

令和元年の新作歌舞伎

演劇本部の屋台骨を支えるジャンルの一つが歌舞伎であることは間違いありません。歌舞伎は1603年の慶長から数多の元号を飛び越えて、令和という時代になるまで、数えきれないほどの狂言を生み出し、その中のいくつかは再演を繰り返し、練り上げられて、古典として洗練された作品へと昇華してきました。

古典作品を継承していくことのみならず、常に時代のニーズに合わせた新作歌舞伎を世に生み出すことが、後世へ向けた当社ならではの使命ととらえ、新作歌舞伎の創造に積極的に取り組んでおります。

令和となった本年は、5月には劇場という枠を飛び出し、「倉庫」や「ライブハウス」といった劇場以外の空間へフィールドを移して「オフシアター歌舞伎」を上演いたしました。また歌舞伎座の6月公演では、三谷幸喜さんを作・演出に迎えて「月光露針路日本 風雲児たち」を上演し、連日大好評を得て、新たな歌舞伎ファンの獲得に成功いたしました。同月の南座では、日本のみならず海外にも多くのファンを持つ世界的な大ヒットコミックス「NARUTO」を新作歌舞伎として上演し、歌舞伎ファンのみならず、漫画ファンの間でも大きな話題となりました。8月には本年でシリーズ4作目となりお馴染みとなりました「東海道中膝栗毛」の新作を上演いたしました。これまでにない奇想天外な物語の随所に古典歌舞伎を彷彿とさせるパロディーを取り入れ、客席を大いに沸かせました。また、これまでに何度も映像化、舞台化されてきた『雪之丞変化』を、演出も兼ねる坂東玉三郎自らが構成を大きく見直し、新版として上演いたしました。

新作歌舞伎の創造は、歌舞伎が《現代に生きる演劇である》ことの証左であるにとらえ、古典歌舞伎を継承しながらも、現代社会の最先端にある文化との様々な協業によって更なる魅力を切り開いていけるよう鋭意努力しております。



令和元年5月 オフシアター歌舞伎「女殺油地獄」
©松竹株式会社



令和元年6月 歌舞伎座「月光露針路日本 風雲児たち」
©松竹株式会社



令和元年8月 歌舞伎座「新版 雪之丞変化」
©松竹株式会社



令和元年8月 歌舞伎座「東海道中膝栗毛」
©松竹株式会社

当社の情報 (2019年8月31日現在)

会社の概要

商号 松竹株式会社
設立 大正9年11月
資本金 33,018,656,642円
従業員数 554名

本社、支社および営業所
本社 東京都中央区築地四丁目1番1号
電話 03-5550-1534 (総務室)
関西支社 (大阪)
九州営業所 (福岡)

当社ホームページ
<https://www.shochiku.co.jp/>

役員

取締役会長	大谷	信義	義一
代表取締役社長	迫本	淳	正人
代表取締役副社長	安孫子	光	人之
代表取締役副社長	細田	雅	正也
専務取締役	武山	成	孝弘
専務取締役	大岡	哲	康
専務取締役	秋高	一	苗記
専務取締役	越	敏	弘卓
専務取締役	関田	早	人
専務取締役	西井	幸	
専務取締役	小船	貴	
専務取締役		直	
常勤監査役	田島	賢	一行
常勤監査役	内藤	博	司
社外監査役	立花	貞	豊
社外監査役	朝比奈	正	男
社外監査役	井ノ上		

グループ会社一覧

連結子会社

- ・松竹衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹サービスネットワーク：映画関連グッズの販売、各種イベントの企画製作および運営、不動産管理・清掃、フラワー事業、損害保険の代理、警備
- ・松竹ショウビズスタジオ(株)：舞台、映画、テレビ、ラジオの番組企画・製作並びに音響効果の企画・製作・再生
- ・松竹芸能 (株)：タレント・俳優の養成並びにマネージメント、演劇・テレビドラマ・イベントの企画・製作
- ・松竹ブロードキャスティング(株)：衛星基幹放送事業および一般放送事業並びにソフト製作・編集
【衛星劇場・ホームドラマチャンネル】
- ・(株)松竹撮影所：劇場用映画・テレビ映画の製作、短編・CM映画の製作並びに請負
- ・(株)松竹映像センター：映像制作、編集およびDVDオーサリング
- ・(株)松竹マルチプレックスシアターズ：複合映画館 (シネマコンプレックス) の開発・運営
- ・松竹音楽出版 (株)：映画音楽の制作並びに音楽著作権の管理
- ・松竹ナビ (株)：宣伝の企画・制作・代理
- ・歌舞伎座舞台 (株)：演劇舞台の大道具製作・販売
- ・(株)関西美術：演劇舞台の小道具製作・賃貸
- ・日本演劇衣裳 (株)：舞台衣裳等の製作・販売・賃貸
- ・(株)松竹エンタテインメント：俳優・芸能タレント・音楽家・スポーツ選手・アーティストの育成並びにマネージメント
- ・KSビルキャピタル特定目的会社：歌舞伎座タワーの賃貸および管理

持分法適用会社

- ・(株)サンシャイン劇場：サンシャイン劇場の賃貸、演劇の興行他
- ・(株)イヤホンガイド：演劇劇場内イヤホンガイドサービス
- ・(株)歌舞伎座：歌舞伎座その他の事務所・店舗の賃貸
- ・新橋演舞場 (株)：新橋演舞場その他の事務所・店舗の賃貸
- ・インターローカルメディア(株)：衛星基幹放送事業
- ・歌舞伎座サービス (株)：食堂・飲食店舗・売店の経営
- ・A e t a s (株)：ゲーム全般に関する情報サイトの運営

株式の状況 (2019年8月31日現在)

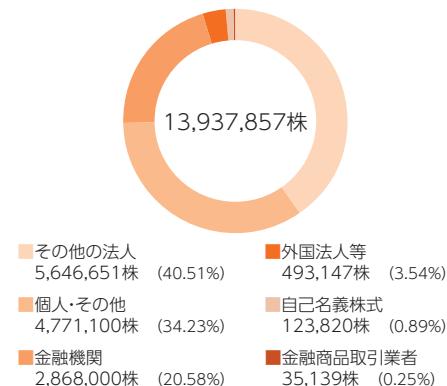
発行可能株式総数	30,000,000株
発行済株式の総数	13,937,857株 (自己株式123,820株を含んでおります。)
株主数	16,384名 (前事業年度末比249名増)

大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
株式会社歌舞伎座	4,802百株	3.48%
株式会社みずほ銀行	4,500百株	3.26%
株式会社三菱UFJ銀行	4,344百株	3.14%
セコム株式会社	3,700百株	2.68%
清水建設株式会社	3,690百株	2.67%
株式会社大林組	3,600百株	2.61%
西松建設株式会社	3,288百株	2.38%
大成建設株式会社	3,104百株	2.25%
株式会社TBSテレビ	3,085百株	2.23%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	2,554百株	1.85%

(注) 持株比率は自己株式 (123,820株) を控除して計算しております。

[所有者別株式分布表]



株主優待基準 (2019年9月1日現在)

【株主優待権利確定日および優待期間】

権利確定日	優待期間
毎年2月末日	毎年6月～同年11月
毎年8月末日	毎年12月～翌年5月

※6ヶ月ごとに株主様へ優待内容通知をご送付いたします。

【映画優待 ポイント付与基準】

所有株式数	6ヶ月優待ポイント数 (1ヶ月使用可能ポイント数)
100株以上	80ポイント (40ポイント)
200株以上	160ポイント (60ポイント)
300株以上	200ポイント (80ポイント)
500株以上	280ポイント (100ポイント)
800株以上	400ポイント (120ポイント)
1,000株以上	480ポイント (140ポイント)

【演劇優待 枚数基準】

所有株式数	6ヶ月優待枚数
300株以上	2枚
500株以上	4枚
800株以上	6枚
1,000株以上	8枚
1,500株以上	12枚
2,000株以上	16枚

株主メモ

事業年度 3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月下旬

株主確定基準日 定時株主総会 2月末日
 期末配当 2月末日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

単元株式数 100株

公告掲載URL <https://www.shochiku.co.jp/company/ir/>
 (ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法によって公告いたします。)

【お知らせ】

株主様の住所変更、配当金の口座振込ご指定その他各種お手続きにつきまして、証券会社に口座を開設されている株主様は、原則当該証券会社に、証券会社に口座を開設されておらず特別口座にご所有株式が記録されている株主様は、上記の特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にそれぞれお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

●特別口座で株式をお持ちの株主様へ

特別口座に記録されている株式は、株式市場で売買できません。株式市場で売買するためには、証券会社等に口座を開設し、特別口座から証券会社等の口座へ株式をお振り替えいただく必要がございます。お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

